札幌地区労連ニュース

〈発　行〉
札幌地区労働組合総連合
発行者　木村　俊二
札幌市東区北９条東１丁目２−２２
TEL557−8481　FAX557−8482

３・９全国統一行動
全医労 指名スト決行
「つながる春闘」札幌集会　きばた秀男さんが激励

札幌地区労連と国民春闘北海道共闘委員会は３月９日、全労連の全国統一行動に呼応して全医労のスト支援や「つながる春闘大集会」などを行いました。

統一回答指定日だった前日の低額回答に抗議し、物価高騰を乗り越える賃上げを求めて、産別・地域でストライキや多彩なデモ・集会を展開しました。

国立病院機構などで働く労働者で組織する全日本国立医療労働組合（全医労）は、全国約１４０の国立病院支部で、独立行政法人化後初の一斉ストに立ち上がりました。

札幌市西区の北海道医療センターでは、７時45分から朝ビラを配布して、全職員にストの目的と意義を呼びかけました。８時30分から、２名のスト指名者を先頭に、病院正面に面する「山の手通り」と救急玄関が面する「宮の沢通り」の二手に分かれてスタンディングを実施。医労連や地区労連参加の組合、弁護団（弁護士）などからの支援も含め50人が、冷たい風が吹きつけ雪の残る歩道上で、「国立病院の機能強化を求めます」「軍事費より賃上げを」「ストライキ実施中」の横断幕やプラカードを掲げ外来患者や通行する市民にアピールしました。白石区の北海道がんセンターでも同様の行動が取り組まれました。

北海道医療センター前スト支援行動

北海道がんセンター前スト支援行動

その日の午後には記者会見を行い、医療現場の実情を訴えました。全医労道地連の三上智子書記長は「慢性的な人手不足の中、増員、賃金改善もなく、本来、職員の処遇改善や医療体制の強化にあてるはずの積立金４２２億円が軍事費に転用されようとしている。安全安心の医療提供、いのちを守るために改善を求めたい」と訴えました。

夜には札幌地区労連が「つながる春闘」札幌集会を開催しました。

集会では全医労の仲間がオンラインで出席し、「大多数の組合員にとって、ストライキは初めての経験。医療労働者の処遇を改善してこそ地域医療の充実が図られると訴えた」とストライキ初参加の体験を報告しました。

福祉保育労、建交労鉄道本部、高教組、医療、東海大の仲間などからたたかいの報告がありました。また、札幌市長選挙に出馬表明したきばた秀男氏が力強い決意を述べました。

働きに見合う賃金を！
勤医労ストに1000人

勤医労は３月16日、午後始業時30分の時限ストライキを決行し、約１０００人の組合員が参加しました。前週の団体交渉の回答が、ストライキ回避基準の「全ての職員へのベースアップ」などを下回ったことから、ストライキ決行となりました。菊水ブロックでは、札幌病院玄関前でスタンディングを実施。小雨の降る中、札病支部・小田晴執行委員長は「新型コロナウイルスへの対応で看護師や介護士は疲弊している。患者さんのためにまずは自分たちが元気に働きたい。労働に見合った賃金と人手を求める」と訴えました。組合員が上積みを求める切実な声を次々とリレースピーチし、決意を固め合いました。

応援に駆けつけた全医労道地方協の三上智子書記長も激励のスピーチ。２社の取材を受け、報道されました。

このほかにも各地でスタンディングや、「大幅増員署名」のはがきポスティング、職場集会、住宅施設内での署名行動、アピールボードの作成や学習会など多岐わたる行動が展開されました。

きばた市長候補が決意を表明
つながる春闘 札幌集会

３月９日の全国統一行動日に行われた「つながる春闘札幌集会」には、４月９日に投開票される札幌市長選挙に出馬表明した木幡（きばた）秀男さんが駆けつけ決意を述べました。

木幡候補は出馬表明に当たり、憲法を生かし、冷たい現市政を変え、いのち・くらしが最優先の市政を実現したいと力強い決意を述べ、「医療や介護、福祉の分野で培ってきた経験を生かし、福祉、くらし、教育の充実を図っていく。学校統廃合ではなく給食費の無料化、保育士配置基準の改善をはかり、大型開発や五輪招致に反対する。また、労働者の賃上げを図るため公契約条例を実現する。自治体としてやるべき仕事は、国にしっかりものを言っていく。非核平和都市宣言をした自治体として、軍拡、戦争反対を訴えていきたい。」と表明しました。

木幡候補は、以下の５つの共同目標を掲げて「市民によりそうあったか市政」をめざします。支持を大きく広げ市民に冷たい現市政を転換しましょう！

【５つの共同目標】

１．憲法９条・25条を守り、憲法を市政に活かしたまちづくり
２．市民の声を聞き、福祉・くらし・教育を充実し、安心して子育てができ、住み続けられるまちづくり
３．札幌経済の主役地元業者・中小企業を中心とした地域経済の振興を図り、雇用の確保で若者が生き生きと暮らせるまちづくり
４．冬季オリンピック・パラリンピック２０３０年招致中止
５．泊原発の再稼働に反対し、安心安全の札幌市政をめざす

札幌市・商工会議所へ
春闘要求書提出し懇談

札幌地区労連は、３月16日、札幌市と札幌商工会議所へ２０２３年春闘要請を行いました。

今年の春闘要請は、かつてない物価高騰のもと自治体や経済団体としても大幅賃上げ促進を後押しする対策強化を求めました。

札幌市への要請には、大幅賃上げを自治体としてできる対策強化を求めました。具体的には札幌市が直接雇用する非常勤職員（会計年度職員など）の時間給をすべて１５００円に引き上げること、公契約事業を発注する際の適正な人件費が支給されるよう「下限」の義務化を図る公契約条例を制定すること、看護師、介護職員、保育士、学童保育指導員などへの処遇改善策を市として講ずるこ

（次ページへ続く）

（前ページより）と、保育士の配置基準の改善、看護師、介護職員などケア労働者の増員など札幌市の独自施策を拡充するよう強く求めました。

札幌市への要請・懇談

また、公衆衛生体制の強化について、すべての区に保健所をつくり、保健所職員も増やしコロナ感染対策を引き続き強めること、保護者や子どもを無視した小中学校の統廃合をやめ教職員を増やし「過労死」をなくしゆきとどいた教育を行うよう要請しました。

さらに、国への要請として地域間格差をなくすため最低賃金は全国一律時給１５００円にすること、自治体が公契約条例を実施しやすくするために国が「公契約法」を制定すること、公立公的病院の統合再編や地域医療構想の見直し・撤回、専守防衛を逸脱する敵基地反撃能力の保有の閣議決定の撤回、大軍拡・大増税をやめ、社会保障予算を増やすよう国に要請するよう強く求めました。

参加者からは医療・介護現場の実態や青年労働者の実態などが報告され、対応した久道雇用促進部長は「皆さんから実態が聞けて良かった。要請内容はきちんと市長に伝えたい」と回答しました。

札幌商工会議所要請では北海道、札幌の経営環境の厳しい実態が報告され「厳しい経営業況のもと、加盟企業に指導するよう要請しました。石本総務部長からは労働者の賃上げは必要、資材や電気料金などの高騰で中小企業は経営悪化でこれから倒産も見込まれるなか企業努力はしている。国の経済対策が影響しており皆さんの要請内容と同じような要請を自治体や国にしている。これからも中小企業を守るため労使で協力できることは進めていきたいと好意的な姿勢を示しました。要請行動には赤坂議長、木村事務局長、佐賀事務局次長、奥田幹事、青山幹事が参加（青山幹事は札幌市への要請のみ参加）しました。

商工会議所への要請・懇談

企業も賃上げで努力しているが経営規模や業種によって違いがでている」と回答。参加者からは非正規労働者の正規との均等待遇や医療・介護・保育などケア労働者などの賃金・労働条件改善などを後押しするよう加盟企業に指導するよう要請しました。石本総務部長からは労働者の賃上げは必要、資材や電気料金などの高騰で中小企業は経営悪化でこれから倒産も見込まれるなか企業努力はしている。国の経済対策が影響しており皆さんの要請内容と同じような要請を自治体や国にしている。これからも中小企業を守るため労使で協力できることは進めていきたいと好意的な姿勢を示しました。要請行動には赤坂議長、木村事務局長、佐賀事務局次長、奥田幹事、青山幹事が参加（青山幹事は札幌市への要請のみ参加）しました。

重税反対札幌北部集会
木村事務局長が連帯あいさつ

３月13日、３・１３重税反対全国統一行動札幌北部集会が開催され、１５０人が参加しました。

集会には、日本共産党をはじめ立憲民主党、新社会党の各政党に加え、北海道知事選に立候補した池田まき氏、札幌市長選に立候補した、きばた秀男氏からも連帯のメッセージが寄せられ、会場には、日本共産党から長屋いずみ市議（北区）、太田秀子（東区）市議、そして北区道議候補の小室まさのり氏、北区市議候補の加藤昇氏、東区市議候補の平岡だいすけ氏の５人が来賓として参加しました。

野村北部民商会長のあいさつで始まり、年金者組合北支部の小山書記長、札幌地区労連から木村事務局長、北区革新懇からは白樫代表、北部民商からは岡田副会長が発言しました。

木村事務局長は「今の日本経済を回復させ、消費拡大を図るためにも、物価高騰に見合う大幅賃上げと消費税の減税を実現するためともにたたかいましょう」と呼びかけました。

基調報告を大井川事務局長が行いました。「多くの労働者が困難を感じ苦労している中、インボイスや増税を進めようとする政府は許せない」、また「税務相談停止命令制度を法制化し、軍事増税政策反対、消費税減税を唱える個人、団体を押さえ込もうとする動きに声を広げ対抗しよう」「地方選挙で軍事増税を唱える政党議員を落選させ、現政権に審判を下そう」と、呼びかけました。

集会後、あいにくの雨でしたがサイレントデモパレードが北税務署前まで行われ、参加者はアナウンサーのシュプレヒコールに腕を突き上げ、大きくリアクションしました。パレード解散後、いつもの集団申告が行われ、皆無事提出できました。

なお、北部集会の他市内３カ所でも重税反対統一集会が開催されました。

（北部民商機関紙「ぎょうしゃ」より掲載）

無期転換逃れ許さない！
労組越えて70人参加

札幌地域労組、札幌地区労連など労働組合と日本労働弁護団北海道ブロック、学者などが共同して３月７日、無期転換逃れを許さない「非正規　働き続けたいシンポ」が開催し、70人超が参加しました。

最初に日本労働弁護団北海道ブロックの竹信航介弁護士から「無期転換ルール」について基本的な概略が報告されました。

報告後に当該の労組からの報告がありました。札幌地区労連からは東海大の雇止めのたたかいと大学での無期転換ルールが動き出してから10年。無期転換直前で労働者をクビにする「無期転換逃れ」が全国的に問題になっています。

シンポではたたかいの交流と共同を広げ社会問題化していくことの大事さがあらためて確認されました。

お知らせコーナー

札幌地区労連学習会

恵和会労働組合の不当労働行為とのたたかい

４月24日（月）18：30～19：45＠ZOOM
ID: 967 1000 1994／パス: 884807

【内容】
①恵和会労働組合の報告（30分）
②質疑・感想交流（30分）
③恵和会労働組合からの呼びかけ

問い合わせ先・札幌地区労連 佐賀
TEL011-557-8481
メール sapporotikuroren@gmail.com

春だより
～労働相談＆フードバンク～
ごあんない